

平成 28 年度顕彰受賞者

【功労表彰】（功績・経歴・概要）

(公財) 飯田市体育協会 土屋 章尋 (つちや あきひろ)

平成13年～平成20年 財団法人飯田市体育協会 監事 8年間  
財団法人飯田市体育協会の財政基盤の確立を計る体制づくりのアドバイスなど、的確な指導をいただいた。

平成21年～平成24年3月 副会長 4年間  
理事会・評議員会の決議機関としての位置づけ、執行機関としての位置づけ、加盟競技団体との連携など明確にし組織を充実させた。

平成24年～平成27年3月 4年間  
公益財団法人への移行に際しましては、初代代表理事として先頭に立ち常に献身的努力をされ、組織確立をされた。

金融機関理事長・会長等要職を歴任される中、飯田市体育協会監事・副会長を 退任後は、代表理事として財団法人から公益財団法人への移行の中で献身的にご尽力いただいた。以上の事から功労賞に値する。

表彰規程第2条(1)  
要件第4条(ア)(オ)(キ)

【勲功表彰】

弓道部 平澤 敏弘 (ひらさわ としひろ)

平成22年～平成28年国民体育大会に7回連続出場され県主力選手として、常に上位入賞など活躍されている。

特に、平成27年・28年連続優勝 2連覇は史上2県目となる活躍である。

平成26年第65回全日本近的選手権大会(東京中央道場)優勝 天皇盃拝受 長野県としては、65年目に初の優勝

平成27年全国弓道大会「錬士の部」2年ぶり2回目優勝。以上の活躍から勲功賞に値する。

表彰規程第2条(2)  
要件第5条(イ)(ウ)(エ)

卓球部 村上 慶二 (むらかみ けいじ)

平成20年より、体育協会卓球部主催「県体育館卓球教室ラージボール教室」の指導者として活躍されている。

指導者として活動する中自身の競技力を磨き上げ、平成28年度全国ラージボール大会 種目50歳代の部優勝。更には諏訪市小松選手とのダブルスで準優勝。以上の活躍から勲功賞に値する。

表彰規程第2条(2)  
要件第5条(イ)

陸上競技部 仁科 利弥 (にしな としや)

長野県長距離トップレベルの選手として常に長野県長距離界と飯伊チームをけん引してきた。  
長野県縦断駅伝競走大会飯伊チーム選手として2002年～現在まで15回連続出場し、第57回大会優勝、3位3回等上位入賞に貢献した。

箱根駅伝への出場経験がある中、里帰り選手として活躍している。これらの活躍から、勲功表彰に値する。

表彰規程第2条(2)  
要件第5条(エ)

陸上競技部 松村 健一 (まつむら けんいち)

長野県縦断駅伝競走大会飯伊チーム選手として2008年～現在まで9回連続出場し、第57回大会優勝、3位3回等上位入賞に貢献した。

長野県縦断駅伝競走大会の上り区間である第9区に8回エントリーし区間賞7回(内2012から5回連続)での活躍は、特筆すべきものがある。

飯伊チームのトップレベル選手として活躍しているが、特に上り走路においては長野県トップ選手の実力者として評価がある。

これらの活躍から、勲功表彰に値する。

表彰規程第2条(2)  
要件第5条(エ)

公益社団法人 スペシャルオリンピックス 日本・長野  
田中 允人 (たなか まさと)

テニス

2013年東海北信越大会 優勝 2015年東海北信越大会 3位

スノーボード

2016オーストリアSOプレ大会 ジャイアントスラローム 優勝 スラローム 3位

2016冬季新潟大会 ジャイアントスラローム上級 2位

2017年3月14日～24日 SO冬季世界大会 オーストリア大会

ジャイアントスラローム 優勝(金メダル) スラローム 準優勝(銀メダル)

自分自身との戦いで昨日の自分に勝つ精神で大会にいどみ、みごと2017年SO冬季世界大会で 優勝・準優勝を手にした。

職場では、障がい者の方々(知的・身体・心身・発達・精神)と「なかよくはたらく、元気にくらす、しっかりかせぐ」を合言葉に、薪作り・薪配達・農作業等で献身的に支援・指導しています。

そのほか特技として 折り紙・編み物の作品も数多く制作されている。

以上の事から勲功表彰に値する。

表彰規程第2条(2)  
要件第5条(エ)